

2013年10月

# 伊豆沼・内沼 サンクチュアリセンターニュース Vol. 40

(公財) 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団  
栗原市若柳字上畑岡敷味17-2  
Tel:0228-33-2216 Fax:0228-33-2217  
ホームページ: <http://izunuma.org/>  
E-mail : [izunuma@circus.ocn.ne.jp](mailto:izunuma@circus.ocn.ne.jp)

## 第53回伊豆沼・内沼クリーンキャンペーン

みんなで守る伊豆沼・内沼の自然



9月23日に、伊豆沼・内沼周辺で「第53回伊豆沼・内沼クリーンキャンペーン」が開催されました。周辺地域の方々や地元企業、小中学校をはじめ多くの方々にご協力頂きました。

今回の参加者は1,027人で、回収したゴミの量は1.0トン（3カ所合計）でした。

## マガンを初確認しました

9月22日朝、伊豆沼西側の獅子が鼻地区で今年初飛来のマガン14羽を確認しました。

マガンの飛来は、平年より1日遅く、昨年より2日遅い飛来でした。



ゼニタナゴ *Acheilognathus typus*



絶滅危惧 I A類  
分布域：関東～東北地方  
産卵期：9～10月

ゼニタナゴは、コイ科に属する小型の魚です。秋になると産卵期を迎え、カラスガイやイシガイなどの二枚貝に卵を産みます。伊豆沼・内沼では、かつては数多く生息していましたが、ブラックバスの増加に伴い減少してしまい、現在ではほとんど見ることはできなくなりました。

伊豆沼財団では、ゼニタナゴの復元に向けてブラックバスの駆除活動やゼニタナゴの飼育・繁殖を行なっています。

**サンクチュアリセンターでは、ゼニタナゴの他に沼ではほとんど見られなくなった小魚を水槽展示しています！ご来館の際は、ぜひ観察してみてください！**

伊豆沼・内沼で見られるタナゴのなかま

ゼニタナゴなどのタナゴの仲間は、二枚貝の中に産卵するという変わった生態を持ちます。産卵期が近付くと、メスの腹部から卵を産むための管が伸びます。オスの体やひれには婚姻色が現れます。コイ科魚類の多くは地味な色をしていますが、タナゴの仲間は婚姻色が美しいことから、飼育魚としても人気があります。伊豆沼・内沼には、これまでに4種類のタナゴ類の生息が確認されています。



タナゴ

絶滅危惧 I B類  
分布域：関東～東北地方  
産卵期：5～6月



カネヒラ

国内移入種  
分布域：西日本  
産卵期：9月～10月



タイリクバラタナゴ

外来種  
原産地：中国  
産卵期：5～8月